

情報端末フェスティバル2013

- 主 催：情報端末事業委員会
- 担当部署：インダストリ・システム部
- 参加者数：約600名

概 要

情報端末事業委員会では、ユビキタス情報社会での情報端末がいかにあるべきかを研究し、我が国の情報端末の新しい分野への発展・普及とこれからの需要喚起を図っていくため、コンピュータのキーコンポーネント（ディスプレイ、磁気ディスク装置）、コンピュータの機能を拡張する装置（プリンター、イメージスキャナ）、業務用装置（金融端末、流通POS端末、ハンディターミナル、OCR、KIOSK端末、監視カメラシステム）を情報端末と位置づけ、各製品ごとに専門委員会やワーキンググループを設け、技術動向・市場動向・各種標準の作成等の調査研究活動を行っており、研究内容の発表の場として毎年情報端末フェスティバルを開催しています。

本フェスティバルは、今年で17回目を迎え、各製品別専門委員会が実施した統計、需要見通し調査、技術動向を中心とした調査成果報告を13のセッションで紹介したほか、下記の5つの特別セッションにて、IT分野を

牽引する事業、最新のトレンドについて情報発信、普及啓発活動を行いました。中でも、特別講演としてご登壇を頂いた田中栄氏（㈱アクアビット）からは、日本の未来の姿やモノづくりのあり方について提言をいただき、活発な意見交換が行われました。



プログラム

- 「我が国の科学技術イノベーション政策について」
経済産業省 商務情報政策局 情報通信機器課 日置雅和 氏
- 「未来予測2013-2025」
田中 栄 氏（㈱アクアビット 代表取締役）
- 「ウェアラブル情報端末の展開」
神戸大学大学院 工学研究科電気電子工学専攻 教授 塚本昌彦 氏
- 「カセットハードディスク時代の到来」
釘屋文雄 氏（一般社団法人 iVDRコンソーシアム 会長）
- 「2020年までの電子機器・半導体業界と日系企業」
南川 明 氏（IHS iSuppli Japan 副社長）

他13セッション